

情報公開用文書（医学部で実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

西暦 2021 年 1 月 18 日作成 第 2.1 版

研究課題名	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)がてんかん医療に与える影響に関するアンケート調査
研究の対象	研究責任者、研究分担者の所属・関係する以下の医療機関 横浜市立大学附属病院、聖マリアンナ医科大学病院、聖隷浜松病院、広島大学病院、京都大学医学部附属病院、むさしの国分寺クリニック、東京大学医学部附属病院、鹿児島大学病院、イワタクリニック、防衛医科大学校病院、愛知医科大学病院、東京医科歯科大学医学部附属病院、九州大学病院、埼玉県立小児医療センター、順天堂大学医学部附属順天堂医院、静岡てんかん・神経医療センター、筑波大学附属病院、東北大学病院、埼玉医科大学総合医療センター、国立精神・神経医療研究センター病院、TMG あさか医療センター、新宿神経クリニック、福岡山王病院てんかん・すいみんセンター、すずかけクリニック、北海道大学病院、中村記念病院
研究目的 ・方法	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)がてんかん医療体制に与えた影響を明らかにし、今後のてんかん医療のあり方、連携構築・維持の方法を考察することを目的とします。
研究期間	西暦 2020 年 8 月 19 日 ~ 西暦 2022 年 3 月 31 日
研究に用いる 試料・情報の 種類	診療情報の対象期間を 2019 年 1 月から 2020 年 12 月とし、日常診療で実施された以下の項目の集計データを収集します。 長時間ビデオ脳波モニタリングの件数、外来脳波の件数、てんかんの入院件数・日数、てんかん手術の件数・術式・年齢層の分布、てんかんカンファレンス数(集合でのカンファレンスとウェブでのカンファレンス)、てんかん外来件数(初診・再診・そのうち遠隔診療をした数)、遠隔医療の手段 また、対象となる医療機関に関係する医師および臨床検査技師に対して、コロナ禍におけるてんかん医療に関するアンケートを行います。
外部への 試料・情報の 提供	研究に用いる情報を、解析を担当する研究分担者・協力者にパスワードをかけたエクセルファイルとして、提供します。提供する情報には氏名等の個人を特定できる情報は含まれていません。また、関係者は本研究の目的以外でそのデータを使用することはありません。
外部からの 試料・情報の 取得と保管	得られた情報はパスワードをかけた電子ファイルとして横浜市立大学附属病院脳神経外科学教室のインターネットから独立したパソコンに、承認日より5年間厳重に保管します。
研究組織	主たる研究機関：横浜市立大学附属病院 脳神経外科学教室 研究責任者：池谷直樹

情報公開用文書（医学部で実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話でお申出下さい。

問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9

横浜市立大学附属病院 脳神経外科 （研究責任者）池谷 直樹

電話番号：045-787-2800（代表）